

コメ先物 プライスレポート〔No.29〕

大阪堂島商品取引所

基準日：大阪コメ(2014.06.10)

東京コメ(2014.06.20)

公表日：2014.06.27

項目

1 コメ先物価格

- 1.1 東京コメ・限月一代データ
- 1.2 大阪コメ・限月一代データ
- 1.3 東京コメ・期間別・限月別データ
- 1.4 大阪コメ・期間別・限月別データ
- 1.5 相関係数

2 コメ先物価格の比較(東京コメ・大阪コメ)

- 2.1 東京コメ及び大阪コメの価格
- 2.2 東京コメ及び大阪コメの同一限月間価格差

3 投資商品との比較

- 3.1 価格推移グラフ等
- 3.2 騰落率等

参考1 米取引関係者の判断に関する調査結果(DI・一部抜粋)

参考2 DIとコメ先物価格の関係性(時差相関グラフ)

*本レポートに関するデータは一般紙、業界紙等の媒体を通じて公表されているものを一部使用しております。又、掲載情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。利用者がレポートの情報をを用いて行う一切の行為について本所は何ら責任を負うものではありません。記載されている内容は作成時におけるものであり、将来のいって事前の予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

1 コメ先物価格

1.1 東京コメ・限月一代データ

単位：円/60kg当たり

	2013年09月限	2013年10月限	2013年11月限	2013年12月限	2014年01月限	2014年02月限	2014年03月限	2014年04月限	2014年05月限
始値(a)	14,810 (2013/03/21)	14,800 (2013/04/22)	14,490 (2013/05/21)	14,030 (2013/06/21)	13,840 (2013/07/22)	12,360 (2013/08/21)	12,650 (2013/09/24)	12,960 (2013/10/21)	12,530 (2013/11/21)
高値(b)	14,810 (2013/03/21)	14,800 (2013/04/22)	14,660 (2013/05/27)	14,070 (2013/06/28)	13,840 (2013/07/22)	13,120 (2013/09/03)	12,960 (2013/10/17)	12,960 (2013/10/21)	12,720 (2014/02/03)
安値(c)	10,980 (2013/09/06)	12,050 (2013/10/16)	12,190 (2013/08/23)	12,200 (2013/08/22)	12,260 (2013/08/22)	12,000 (2014/02/20)	11,700 (2014/03/19)	10,300 (2014/04/18)	10,220 (2014/05/20)
納会値(d)	10,990 (2013/09/20)	12,350 (2013/10/18)	12,290 (2013/11/20)	12,200 (2013/12/20)	12,360 (2014/01/20)	12,000 (2014/02/20)	11,700 (2014/03/20)	10,300 (2014/04/18)	10,220 (2014/05/20)
平均値	13,368	13,505	13,202	12,933	12,708	12,573	12,491	12,089	11,687
中央値	13,660	13,790	12,890	12,670	12,650	12,590	12,500	12,430	12,240
標準偏差	1,083	827	748	589	366	208	290	737	876
レンジ(b-c)	3,830	2,750	2,470	1,870	1,580	1,120	1,260	2,660	2,500
騰落額(d-a)	-3,820	-2,450	-2,200	-1,830	-1,480	-360	-950	-2,660	-2,310
騰落率(d/a)	-25.8%	-16.6%	-15.2%	-13.0%	-10.7%	-2.9%	-7.5%	-20.5%	-18.4%
営業日数	127	123	127	126	121	121	119	121	118
データ数	759	735	759	753	717	717	705	717	699

単位：円/60kg当たり

	2014年06月限	2014年07月限	2014年08月限	2014年09月限	2014年10月限	2014年11月限
始値(a)	12,290 (2013/12/24)	12,260 (2014/01/21)	12,190 (2014/02/21)	11,100 (2014/03/24)	9,980 (2014/04/21)	9,300 (2014/05/21)
高値(b)	12,730 (2014/02/03)	12,560 (2014/01/24)	12,190 (2014/02/21)	11,170 (2014/04/08)	9,980 (2014/04/21)	9,300 (2014/05/21)
安値(c)	10,200 (2014/06/20)	10,070 (2014/05/20)	9,950 (2014/05/19)	9,900 (2014/05/13)	8,830 (2014/06/20)	8,830 (2014/06/20)
納会値 又は終値(d)	10,200 (2014/06/20)	10,450 (2014/06/20)	10,450 (2014/06/20)	10,110 (2014/06/20)	8,830 (2014/06/20)	8,830 (2014/06/20)
平均値	11,258	11,042	10,639	10,298	9,252	9,031
中央値	10,720	10,530	10,480	10,190	9,280	9,045
標準偏差	904	870	579	314	235	127
レンジ(b-c)	2,530	2,490	2,240	1,270	1,150	470
騰落額(d-a)	-2,090	-1,810	-1,740	-990	-1,150	-470
騰落率(d/a)	-17.0%	-14.8%	-14.3%	-8.9%	-11.5%	-5.1%
営業日数	119	104	82	62	42	23
データ数	705	624	492	372	252	138

〈注意〉
 2014年10月限以降は、調整額なしで「うるち玄米合格品」を受渡で供用が可能。

※ 上記データの算出対象期間は、2013.12.24～2014.06.20までとしている。

1 コメ先物価格

1.2 大阪コメ・限月一代データ

単位：円/60kg当たり

	2013年09月限	2013年10月限	2013年11月限	2013年12月限	2014年01月限	2014年02月限	2014年03月限	2014年04月限	2014年05月限
始値(a)	15,470 (2013/03/11)	16,500 (2013/04/11)	14,620 (2013/05/13)	14,460 (2013/06/11)	14,490 (2013/07/11)	13,890 (2013/08/12)	12,710 (2013/09/11)	13,170 (2013/10/11)	12,850 (2013/11/11)
高値(b)	15,470 (2013/03/11)	16,500 (2013/04/11)	14,960 (2013/05/14)	14,530 (2013/07/16)	14,520 (2013/07/16)	13,890 (2013/08/12)	13,260 (2013/10/07)	13,250 (2013/10/11)	12,860 (2014/01/24)
安値(c)	11,990 (2013/08/29)	12,000 (2013/08/26)	12,120 (2013/08/23)	12,110 (2013/08/22)	12,180 (2013/08/22)	12,340 (2013/08/22)	11,700 (2014/03/10)	11,190 (2014/04/10)	11,170 (2014/03/27)
納会値(d)	11,990 (2013/09/10)	12,820 (2013/10/10)	12,790 (2013/11/08)	12,780 (2013/12/10)	12,590 (2014/01/10)	12,560 (2014/02/10)	11,700 (2014/03/10)	11,190 (2014/04/10)	11,420 (2014/05/09)
平均値	13,919	13,885	13,586	13,318	13,075	12,895	12,841	12,546	12,238
中央値	13,990	14,260	13,840	12,970	12,870	12,850	12,830	12,750	12,640
標準偏差	881	1,017	859	720	543	249	244	505	643
レンジ(b-c)	3,480	4,500	2,840	2,420	2,340	1,550	1,560	2,060	1,690
騰落額(d-a)	-3,480	-3,680	-1,830	-1,680	-1,900	-1,330	-1,010	-1,980	-1,430
騰落率(d/a)	-22.5%	-22.3%	-12.5%	-11.6%	-13.1%	-9.6%	-7.9%	-15.0%	-11.1%
営業日数	127	125	125	126	122	121	118	120	119
データ数	759	747	747	753	723	717	699	711	705

単位：円/60kg当たり

	2014年06月限	2014年07月限	2014年08月限	2014年09月限	2014年10月限	2014年11月限
始値(a)	12,600 (2013/12/11)	12,660 (2014/01/14)	12,680 (2014/02/12)	11,630 (2014/03/11)	11,280 (2014/04/11)	11,050 (2014/05/12)
高値(b)	12,840 (2014/02/03)	12,870 (2014/02/03)	12,680 (2014/02/12)	11,700 (2014/03/13)	11,280 (2014/04/11)	11,050 (2014/05/12)
安値(c)	10,930 (2014/03/27)	10,940 (2014/03/27)	10,950 (2014/03/27)	10,960 (2014/03/27)	10,760 (2014/06/10)	10,790 (2014/06/10)
納会値 又は終値(d)	11,090 (2014/06/10)	11,110 (2014/06/10)	11,080 (2014/06/10)	11,060 (2014/06/10)	10,760 (2014/06/10)	10,800 (2014/06/10)
平均値	11,888	11,745	11,491	11,237	10,989	10,943
中央値	11,650	11,280	11,240	11,200	10,970	10,930
標準偏差	675	656	491	200	102	63
レンジ(b-c)	1,910	1,930	1,730	740	520	260
騰落額(d-a)	-1,510	-1,550	-1,600	-570	-520	-250
騰落率(d/a)	-12.0%	-12.2%	-12.6%	-4.9%	-4.6%	-2.3%
営業日数	119	101	81	62	40	22
データ数	705	606	486	372	240	132

※ 上記データの算出対象期間は、2013.12.11～2014.06.10までとしている。

1 コメ先物価格

1.3 東京コメ・期間別・限月別データ

(単位:円)

期間	[自] [至]	I	II	III	IV	V	VI
		2013年12月24日 2014年01月20日	2014年01月21日 2014年02月20日	2014年02月21日 2014年03月20日	2014年03月24日 2014年04月18日	2014年04月21日 2014年05月20日	2014年05月21日 2014年06月20日
2014年06月限	始値(a)	12,290	12,250	12,240	11,130	10,420	10,210
	高値(b)	12,290	12,730	12,240	11,130	10,420	10,520
	安値(c)	12,220	12,240	11,310	10,340	10,210	10,200
	終値(d)	12,250	12,240	11,310	10,420	10,210	10,200
	平均値	12,247	12,457	11,765	10,562	10,340	10,413
	中央値	12,250	12,455	11,785	10,565	10,390	10,410
	標準偏差	13	107	328	207	76	114
	月間レンジ(b-c)	70	490	930	790	210	320
	騰落額(d-a)	-40	-10	-930	-710	-210	-10
	騰落率(d/a)	-0.3%	-0.1%	-7.6%	-6.4%	-2.0%	-0.1%
2014年07月限	始値(a)		12,260	12,230	11,020	10,310	10,070
	高値(b)		12,560	12,230	11,020	10,310	10,570
	安値(c)		12,200	11,200	10,240	10,070	10,070
	終値(d)		12,230	11,200	10,310	10,070	10,450
	平均値		12,373	11,639	10,515	10,205	10,399
	中央値		12,400	11,645	10,460	10,240	10,450
	標準偏差		102	343	213	83	162
	月間レンジ(b-c)		360	1,030	780	240	500
	騰落額(d-a)		-30	-1,030	-710	-240	380
	騰落率(d/a)		-0.2%	-8.4%	-6.4%	-2.3%	3.8%
2014年08月限	始値(a)			12,190	11,010	10,290	10,050
	高値(b)			12,190	11,010	10,290	10,570
	安値(c)			11,190	10,290	9,950	10,050
	終値(d)			11,190	10,290	10,050	10,450
	平均値			11,546	10,542	10,080	10,398
	中央値			11,505	10,475	10,110	10,450
	標準偏差			320	193	87	165
	月間レンジ(b-c)			1,000	720	340	520
	騰落額(d-a)			-1,000	-720	-240	400
	騰落率(d/a)			-8.2%	-6.5%	-2.3%	4.0%

(4頁-7頁の見方)

期間別・限月別データは、一ヶ月毎の統計結果をまとめたものです。この結果を見ると、一ヶ月単位の相場水準、月間レンジ、騰落率等が分かります。

東京コメは2014年6月20日基準、大阪コメは2014年6月10日基準で、過去6ヵ月間を統計の対象としています。

1 コメ先物価格

1.3 東京コメ・期間別・限月別データ(続)

(単位:円)

期間	〔自〕 〔至〕	I	II	III	IV	V	VI
		2013年12月24日 2014年01月20日	2014年01月21日 2014年02月20日	2014年02月21日 2014年03月20日	2014年03月24日 2014年04月18日	2014年04月21日 2014年05月20日	2014年05月21日 2014年06月20日
2014年09月限	始値(a)				11,100	10,220	10,100
	高値(b)				11,170	10,220	10,350
	安値(c)				10,220	9,900	10,100
	終値(d)				10,220	10,100	10,110
	平均値				10,691	10,010	10,194
	中央値				10,680	10,000	10,190
	標準偏差				223	88	56
	月間レンジ(b-c)				950	320	250
	騰落額(d-a)				-880	-120	10
	騰落率(d/a)				-7.9%	-1.2%	0.1%
2014年10月限	始値(a)					9,980	9,300
	高値(b)					9,980	9,310
	安値(c)					9,200	8,830
	終値(d)					9,300	8,830
	平均値					9,444	9,093
	中央値					9,450	9,150
	標準偏差					126	179
	月間レンジ(b-c)					780	480
	騰落額(d-a)					-680	-470
	騰落率(d/a)					-6.8%	-5.1%
2014年11月限	始値(a)						9,300
	高値(b)						9,300
	安値(c)						8,830
	終値(d)						8,830
	平均値						9,031
	中央値						9,045
	標準偏差						127
	月間レンジ(b-c)						470
	騰落額(d-a)						-470
	騰落率(d/a)						-5.1%

※ 上記データの算出対象期間は、2013.12.24～2014.06.20までとしている。

〈注意〉
 2014年10月限以降の東京コメは、調整額なしで「うるち玄米合格品」を受渡で供用が可能。

(期間VI)

- ・2014年6月限の月間レンジは320円でした。このことから一カ月間の最大差損益は、建玉1枚で3.2万円(320円×100倍)と計算されます。
- ・VI期(5/21～6/20)における東京コメの限月別終値を見ると、価格差は0円から340円の範囲に収まっていますが、9月限と調整額なしで平成26年産うるち玄米合格品が受渡し可能な10月限の価格差は1,280円となり、先月(800円)より拡大していることがわかります。

1 コメ先物価格

1.4 大阪コメ・期間別・限月別データ

(単位:円)

期間	〔自〕 〔至〕	I	II	III	IV	V	VI
		2013年12月11日	2014年01月14日	2014年02月12日	2014年03月11日	2014年04月11日	2014年05月12日
		2014年01月10日	2014年02月10日	2014年03月10日	2014年04月10日	2014年05月09日	2014年06月10日
2014年06月限	始値(a)	12,600	12,660	12,670	11,610	11,240	11,310
	高値(b)	12,740	12,840	12,670	11,670	11,310	11,310
	安値(c)	12,600	12,640	11,610	10,930	11,200	11,090
	終値(d)	12,660	12,670	11,610	11,240	11,310	11,090
	平均値	12,684	12,715	12,250	11,338	11,217	11,290
	中央値	12,700	12,690	12,160	11,270	11,200	11,290
	標準偏差	44	67	342	279	29	28
	月間レンジ(b-c)	140	200	1,060	740	110	220
	騰落額(d-a)	60	10	-1,060	-370	70	-220
	騰落率(d/a)	0.5%	0.1%	-8.4%	-3.2%	0.6%	-1.9%
2014年07月限	始値(a)		12,660	12,680	11,620	11,250	11,270
	高値(b)		12,870	12,680	11,680	11,270	11,270
	安値(c)		12,660	11,620	10,940	11,160	11,110
	終値(d)		12,680	11,620	11,250	11,270	11,110
	平均値		12,740	12,262	11,348	11,185	11,248
	中央値		12,720	12,180	11,280	11,160	11,250
	標準偏差		71	342	279	39	30
	月間レンジ(b-c)		210	1,060	740	110	160
	騰落額(d-a)		20	-1,060	-370	20	-160
	騰落率(d/a)		0.2%	-8.4%	-3.2%	0.2%	-1.4%
2014年08月限	始値(a)			12,680	11,630	11,260	11,240
	高値(b)			12,680	11,690	11,260	11,240
	安値(c)			11,630	10,950	11,130	11,080
	終値(d)			11,630	11,260	11,240	11,080
	平均値			12,271	11,358	11,161	11,218
	中央値			12,190	11,290	11,130	11,220
	標準偏差			340	279	51	30
	月間レンジ(b-c)			1,050	740	130	160
	騰落額(d-a)			-1,050	-370	-20	-160
	騰落率(d/a)			-8.3%	-3.2%	-0.2%	-1.4%

1 コメ先物価格

1.4 大阪コメ・期間別・限月別データ(続)

(単位:円)

期間	〔自〕 〔至〕	I	II	III	IV	V	VI
		2013年12月11日 2014年01月10日	2014年01月14日 2014年02月10日	2014年02月12日 2014年03月10日	2014年03月11日 2014年04月10日	2014年04月11日 2014年05月09日	2014年05月12日 2014年06月10日
2014年09月限	始値(a)				11,630	11,280	11,220
	高値(b)				11,700	11,280	11,220
	安値(c)				10,960	11,050	11,060
	終値(d)				11,280	11,220	11,060
	平均値				11,370	11,121	11,198
	中央値				11,310	11,110	11,200
	標準偏差				276	80	30
	月間レンジ(b-c)				740	230	160
	騰落額(d-a)				-350	-60	-160
	騰落率(d/a)				-3.0%	-0.5%	-1.4%
2014年10月限	始値(a)					11,280	11,050
	高値(b)					11,280	11,050
	安値(c)					10,850	10,760
	終値(d)					11,050	10,760
	平均値					11,031	10,955
	中央値					10,975	10,950
	標準偏差					124	62
	月間レンジ(b-c)					430	290
	騰落額(d-a)					-230	-290
	騰落率(d/a)					-2.0%	-2.6%
2014年11月限	始値(a)						11,050
	高値(b)						11,050
	安値(c)						10,790
	終値(d)						10,800
	平均値						10,943
	中央値						10,930
	標準偏差						63
	月間レンジ(b-c)						260
	騰落額(d-a)						-250
	騰落率(d/a)						-2.3%

※ 上記データの算出対象期間は、2013.12.11～2014.06.10まで。

(期間VI)

・2014年06月限の月間レンジは220円で、一カ月間の最大差損益は、建玉1枚で1.1万円(220円×50倍)と計算されます。

・VI期(5/12～6/10)の中央値を見ると、旧穀限月(～2014年9月限)は昨秋から続いた下落傾向に一旦反発しましたが、新穀限月(2014年10月限～)は続落していることがわかります。

1 コメ先物価格

1.5 相関係数

東京コメ

価格相関

	2014年06月限	2014年07月限	2014年08月限	2014年09月限	2014年10月限	2014年11月限
2014年06月限						
2014年07月限	0.9956					
2014年08月限	0.9754	0.9923				
2014年09月限	0.6155	0.6520	0.7636			
2014年10月限	-0.4641	-0.7236	-0.8131	-0.6240		
2014年11月限	-0.5996	-0.7720	-0.7714	-0.1579	0.9838	

騰落率相関

	2014年06月限	2014年07月限	2014年08月限	2014年09月限	2014年10月限	2014年11月限
2014年06月限						
2014年07月限	0.8530					
2014年08月限	0.8343	0.9463				
2014年09月限	0.4224	0.5028	0.6166			
2014年10月限	0.0774	0.0869	0.0765	0.0793		
2014年11月限	0.2463	0.1439	0.1285	-0.1517	0.8089	

※1. 東京コメの相関は、直近6ヶ月(2014.06.20以前)の帳入値に基づき作成したものである。

2. 2014年10月限以降の東京コメは、調整額なしで「うるち玄米合格品」を受渡で供用が可能。

大阪コメ

価格相関

	2014年06月限	2014年07月限	2014年08月限	2014年09月限	2014年10月限	2014年11月限
2014年06月限						
2014年07月限	0.9995					
2014年08月限	0.9968	0.9994				
2014年09月限	0.9396	0.9757	0.9908			
2014年10月限	0.1615	0.2642	0.3784	0.3645		
2014年11月限	0.6526	0.7086	0.7086	0.7086	0.9741	

騰落率相関

	2014年06月限	2014年07月限	2014年08月限	2014年09月限	2014年10月限	2014年11月限
2014年06月限						
2014年07月限	0.9921					
2014年08月限	0.9848	0.9978				
2014年09月限	0.9269	0.9651	0.9819			
2014年10月限	0.5636	0.7418	0.8106	0.9094		
2014年11月限	0.6058	0.6248	0.6248	0.6247	0.8460	

※ 大阪コメの相関は、直近6ヶ月(2014.06.10以前)の帳入値に基づき作成したものである。

2 コメ先物価格の比較(東京コメ・大阪コメ)

2.1 東京コメ及び大阪コメの価格

①基礎データ(全限価格)

単位:円

	東京コメ		大阪コメ
	2014年9月限迄	2014年10月限以降	
平均値	11,333	9,162	11,895
中央値	11,380	9,150	11,700
最頻値	10,410	8,890	12,780
標準偏差	951	228	728
最高値	12,730	9,680	12,900
最低値	9,910	8,830	10,760

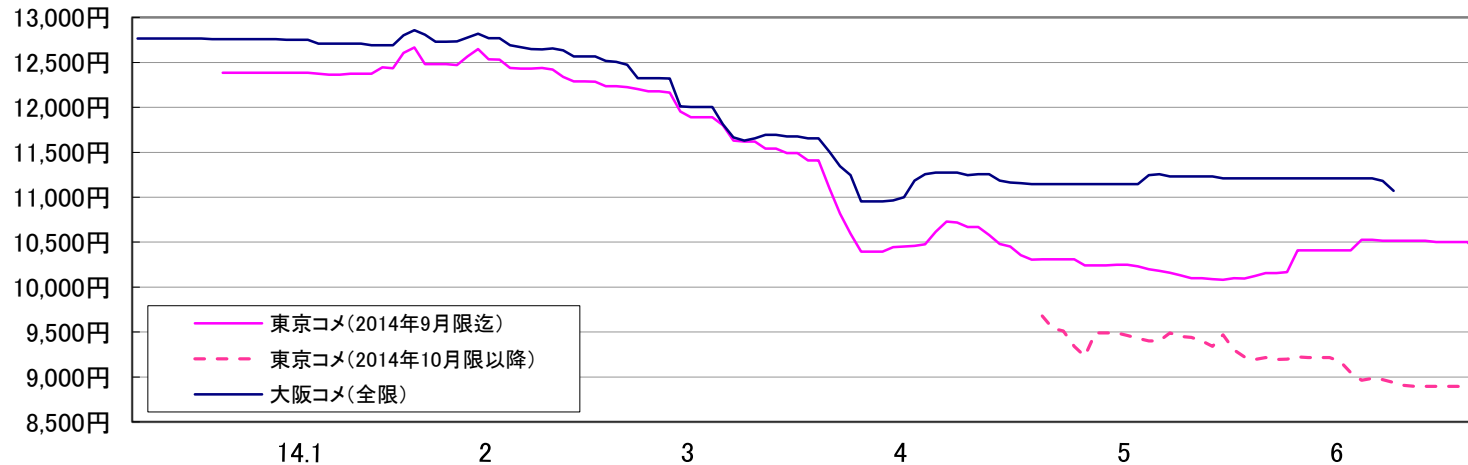
※ 上表は、直近6ヶ月(東京コメ:2014.06.20以前、
大阪コメ:2014.06.10以前)の帳入値に基づき作成したもの。

②相関係数(東西同一限月間)

	価格相関	騰落率相関
14.6月限	0.9643	0.5764
14.7月限	0.9676	0.5963
14.8月限	0.9217	0.5200
14.9月限	0.2394	0.4379
14.10月限	0.6913	0.4789
14.11月限	0.8268	-0.0741

※ 上表は、2013.12.24~2014.06.10の帳入値に基づき作成したもの。

コメ先物価格(中央値)の推移



※ 表は、直近6ヶ月(東京コメ:2014.06.20以前、
大阪コメ:2014.06.10以前)の帳入値に基づき作成したもの。

2 コメ先物価格の比較(東京コメ・大阪コメ)

2.2 東京コメ及び大阪コメの同一限月間価格差

同一限月間価格差の基礎データ

	14.6月限	14.7月限	14.8月限	14.9月限	14.10月限	14.11月限
平均値	518	610	734	856	1,630	1,817
中央値	480	595	695	930	1,645	1,790
最頻値	1,070	840	810	1,010	1,650	1,760
標準偏差	323	322	303	323	138	66
最高値	1,080	1,180	1,280	1,310	1,900	1,950
最低値	-50	100	250	190	1,340	1,750

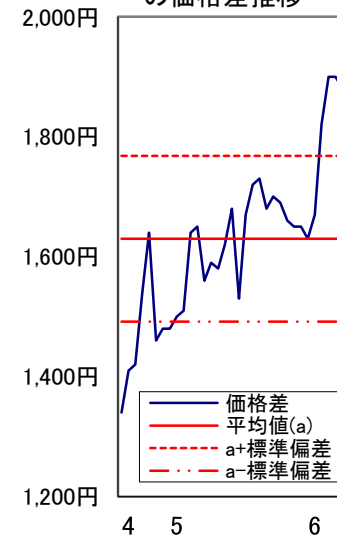
単位:円

※ 上表は、2014.06.10時点に建っている6限月の帳入値(直近6ヵ月)に基づき作成したものの。

1番限(2014年6月限)の価格差推移



5番限(2014年10月限)の価格差推移



東京コメと大阪コメの限月間(1番限)価格差の中心は518円で、その中心から±323円の範囲に価格差データが集中しています。価格差は先月(1番限)よりも98円拡大しています。

下グラフで、東京コメと大阪コメの価格差を見ると、価格差の平均値を中心に、一定の範囲で価格差が拡大縮小する様子が見てとれます。

価格差変動の観察は、スプレッド取引において重要です。また、スプレッド取引を検討する際は、東京コメ、大阪コメの価格水準や相関等も合わせてチェックしていくといいかと思われます。

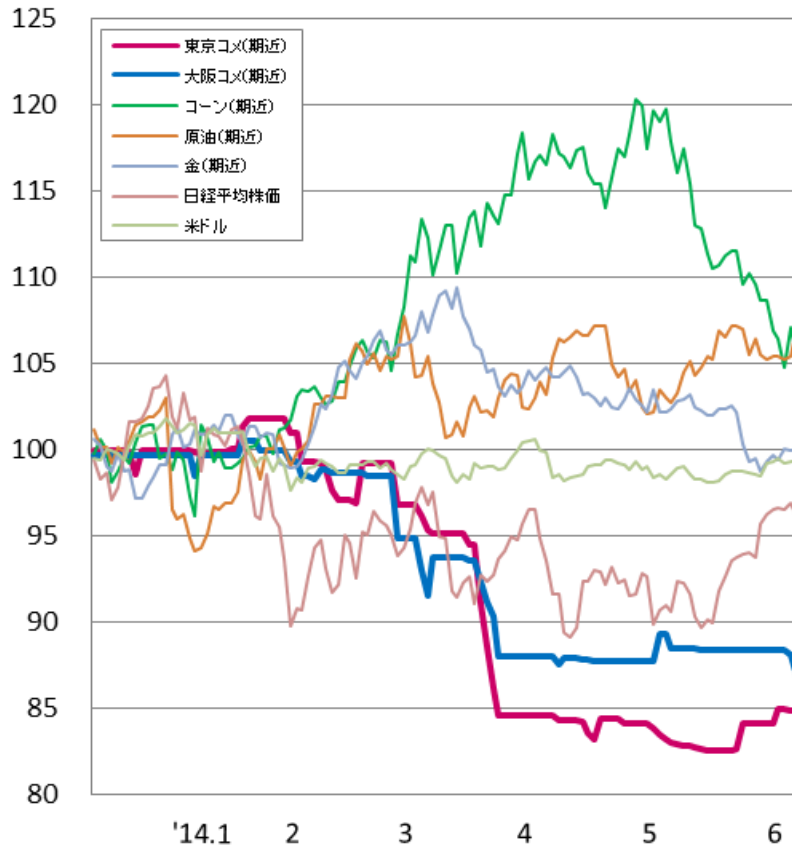
※スプレッド取引
スプレッド取引とは、連動性の高い複数の商品の価格差を利用して利益を狙う取引の総称です。

※ グラフは、2014.06.10時点の一代の帳入値に基づき作成したものの。

3 投資商品との比較

3.1 価格推移グラフ等

コメと投資商品の価格水準(直近6ヶ月)(基準:2013.12.10=100)



※各表およびグラフは、直近6ヶ月(2014.06.10以前)の帳入値に基づき作成したものである。
(日経平均株価は終値)

相関係数

価格相関

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
①東京コメ(期近)							
②大阪コメ(期近)	0.9789						
③CMEコーン(期近)	-0.8392	-0.8811					
④CME原油(期近)	-0.6443	-0.6671	0.6185				
⑤東京金(期近)	-0.1368	-0.2442	0.5101	0.3085			
⑥日経平均株価	0.5991	0.6129	-0.7133	-0.5624	-0.4110		
⑦米ドル	0.4519	0.4667	-0.5186	-0.5779	-0.3193	0.8888	

騰落率相関

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
①東京コメ(期近)							
②大阪コメ(期近)	0.5099						
③CMEコーン(期近)	-0.0497	-0.0349					
④CME原油(期近)	-0.0006	-0.0537	0.0580				
⑤東京金(期近)	0.0322	0.0057	-0.1261	-0.1850			
⑥日経平均株価	0.0486	0.0167	-0.0946	0.1363	-0.0045		
⑦米ドル	0.0530	-0.0356	-0.1326	0.1269	-0.1024	0.5530	

※ 上記データの算出対象期間は、2013.12.11～2014.06.10までとしている。

左グラフ(直近6ヶ月間の価格水準)を見ると、半年間で東京コメは15%程度、大阪コメは13%程度の上昇がそれぞれ確認されます。

コメは、5ヶ月連続でコーン、原油、金とマイナスの関係性になり、日経株価と米ドルとの相関も先月に引き続きプラスとなりました

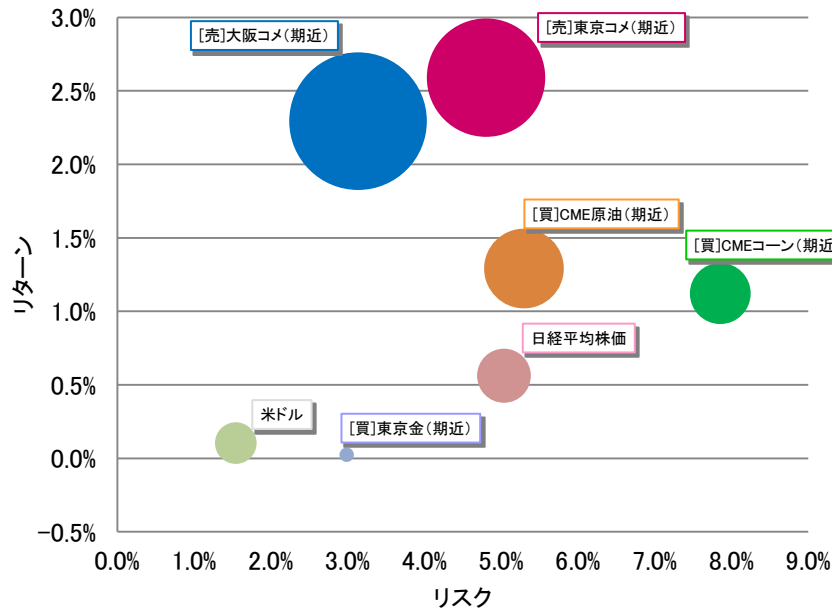
上表の相関係数を踏まえると、投資対象の一部にドメスティックな商品を組み込めば一定のリスク分散効果が期待できるのではないのでしょうか。

相関係数(価格相関・騰落率相関)は、2つの変数の相互依存性の強さを測る尺度です。例えば、X価格が上昇するとY価格も上昇するという関係が見出せたときは「正の相関がある」といい、X価格が上昇するとY価格は下落するという関係が見出せたときは「負の相関がある」といいます。

3 投資商品との比較

3.2 騰落率等

リスク・リターンの関係(直近6ヶ月間の状況)



左グラフは、投資対象別のリスク、リターン及びシャープ・レシオを表しています。
グラフ中の円の大きさは、投資効率を測るメジャーであるシャープ・レシオ(シャープR)の大きさを表しています。(円が大きいほど評価します。)

左グラフ・左下表を見ると、直近6ヶ月間でリスク・リターンのバランスが良い投資対象は、大阪コメ、東京コメ、原油の順であることが分かります。

右下表は、2014年06月10日を基準とした期間騰落率を表しています。

1ヶ月の騰落率を見ると、東京コメは反発しましたが、大阪コメは一転して再び下落となりました。
その他の商品では、コーンが大きく下落しましたが、金以外の商品は上昇に転じました。

リスク・リターンの関係(データ)

	リターン	リスク	シャープR
[売]東京コメ(期近)	2.590%	4.803%	0.539
[売]大阪コメ(期近)	2.294%	3.135%	0.732
[買]CMEコーン(期近)	1.121%	7.854%	0.143
[買]CME原油(期近)	1.291%	5.297%	0.244
[買]東京金(期近)	0.024%	2.987%	0.008
日経平均株価	0.562%	5.036%	0.112
米ドル	0.103%	1.543%	0.067

直近の期間騰落率(基準日:2014.06.10)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月
東京コメ(期近)	2.0%	-10.9%	-15.1%	-22.1%
大阪コメ(期近)	-2.9%	-5.2%	-13.2%	-18.1%
コーン(期近)	-12.1%	-6.2%	5.3%	-32.3%
原油(期近)	4.1%	1.8%	7.3%	8.7%
金(期近)	-2.2%	-6.4%	-0.1%	-5.8%
日経平均株価	5.6%	-0.8%	-3.9%	11.0%
米ドル	1.1%	-0.7%	-0.7%	5.3%

※リスク・リターンの関係について

- 1ヶ月毎の騰落率(大阪コメ納会日基準、終値ベース、6ヶ月間)に基づき算出しています。
- 算出に際し、投下資金、レバレッジ、無リスク金利等は含めていません。
- 結果は、計測期間や条件設定により変化するため、あくまでも参考程度と位置づけて下さい。

※直近の期間騰落率イメージ

$$\text{騰落率} = \frac{\text{基準日の価格}}{\text{1ヶ月前の価格}} \sim \frac{\text{基準日の価格}}{\text{12ヶ月前の価格}}$$

参考1: 米取引関係者の判断に関する調査結果(DI・一部抜粋)

2014年6月5日公表分

			今月の 数値	前月からの 増減
国内の主食用 米の需給及び 価格動向に関 する判断 (全体)	主食用米の 需給動向	現状判断DI	25	5
		見通し判断DI(向う3ヶ月)	28	0
	主食用米の 米価水準	現状判断DI	33	-6
		見通し判断DI(向う3ヶ月)	32	-3

※ DIの見方

需給動向: 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

米価水準: 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

DI 調査結果へのリンク先はこちら
[→HTTP://WWW.KOMENET.JP/JISHUCHOUSA/143.HTML](http://www.komenet.jp/jishuchousa/143.html)

※「米取引関係者の判断に関する調査結果」について

- (1) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構(米穀機構)が、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に毎月調査を実施し、その結果をDI(アンケート回答者の判断や方向性を指数化したもの)として公表しているものです。
- (2) 調査期間:
毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- (3) DIの算出方法:
米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。
ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

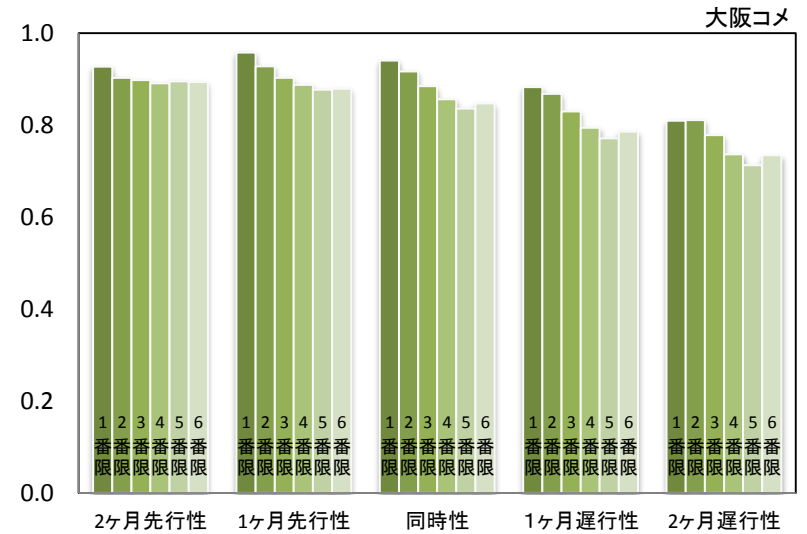
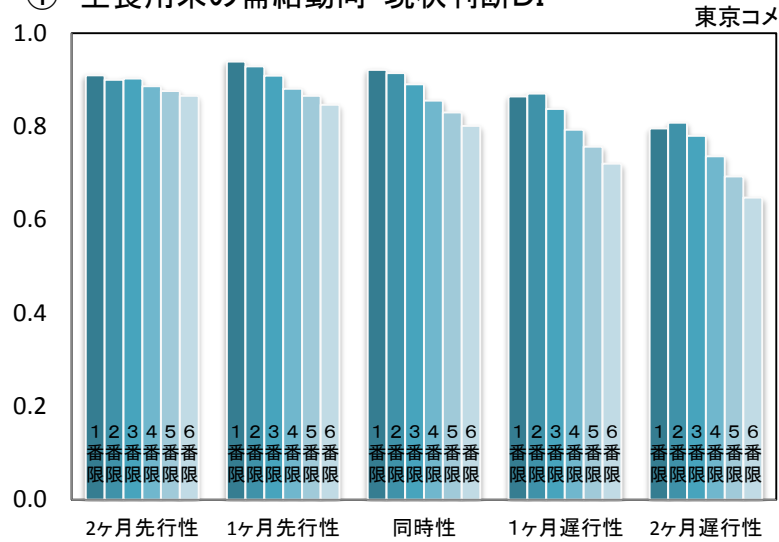
【DIの算出例】

(問)国内の主食用米の“向う3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

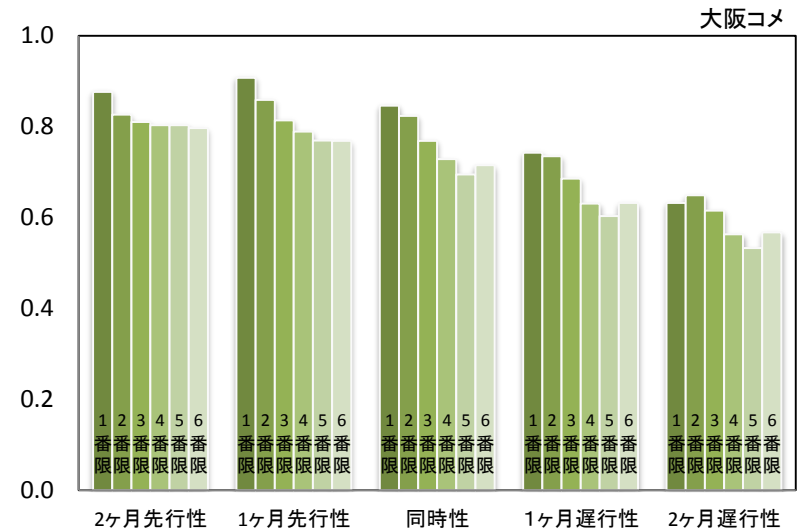
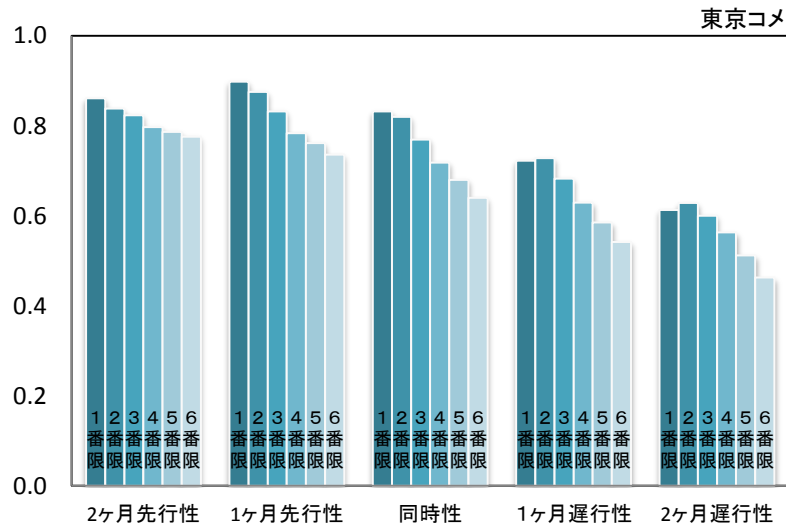
	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

参考2: DIとコメ先物価格の関係性(時差相関グラフ)

① 主食用米の需給動向・現状判断DI

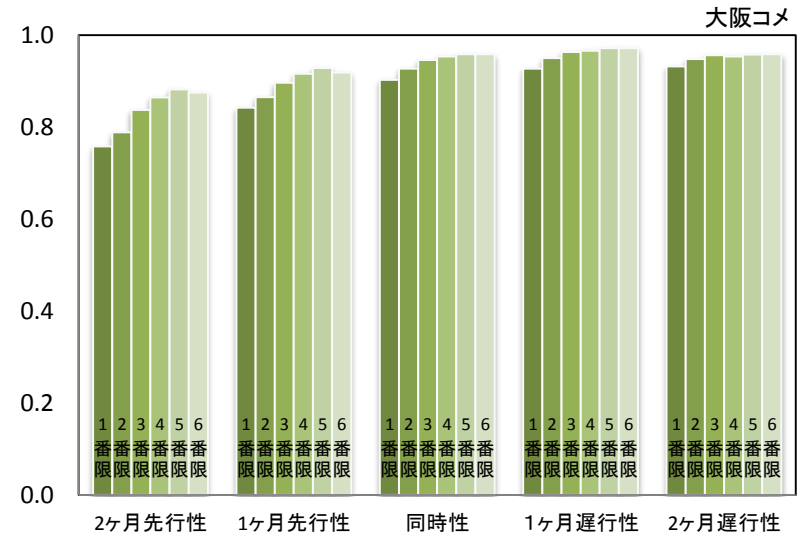
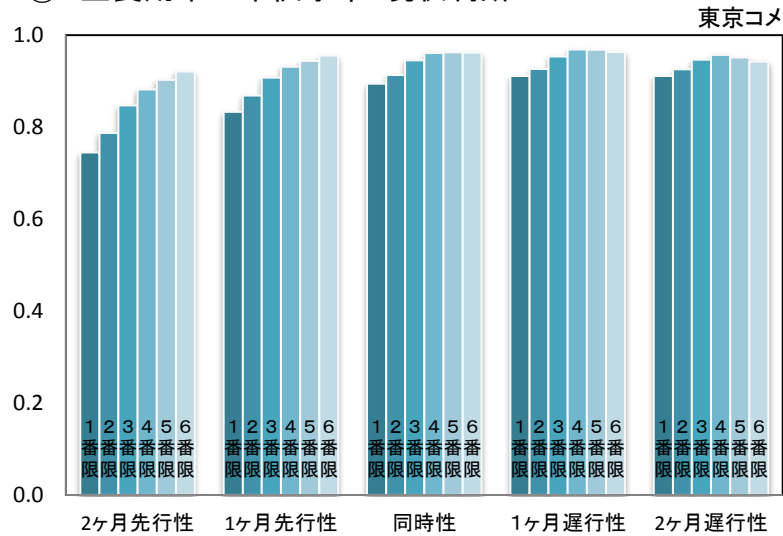


② 主食用米の需給動向・見通し判断DI(向こう3ヶ月)

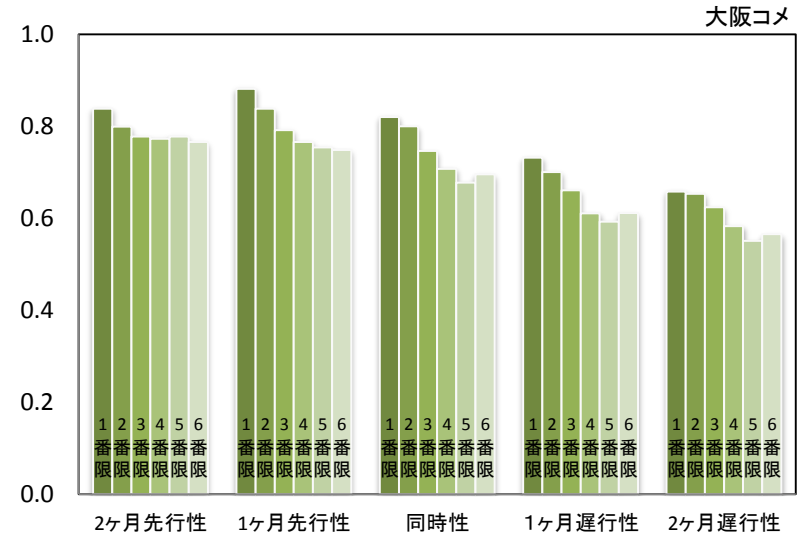
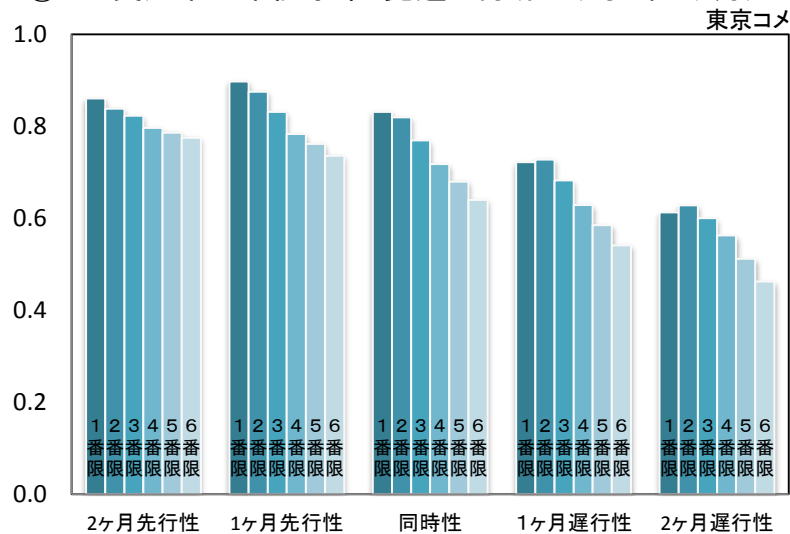


参考2：DIとコメ先物価格の関係性(時差相関グラフ)

③ 主食用米の米価水準・現状判断DI



④ 主食用米の米価水準・見通し判断DI(向こう3ヶ月)



注1.上記の表は、24ヶ月間の各DIと先物価格の帳入値のつなぎ足(月末基準の中央値)をもとに作成したものの。

2.上表は2012年4月から2014年3月迄の期間を基準(同時性)として算出したもの。

参考2：DIとコメ先物価格の関係性(時差相関グラフ)

※相関の見方について

相関とは、二者間の関係性の密度を表します。例えば、DIの値が高くなればコメ先物価格も上がることを正の相関といい、プラス1に近いほど強い関係性を示します。又、逆にDIの値が高くなればコメの先物価格が逆に下がることを負の相関といい、これもマイナス1に近いほど強い関係性を示します。

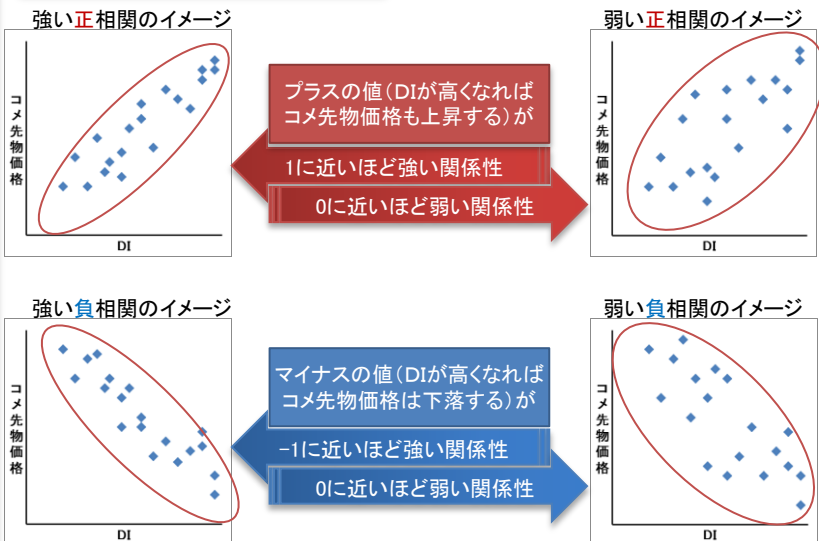
※時差(先行性・同時性・遅行性)について

- (1) 先行性: DIの変動がコメ先物価格の変動に対し、1~2ヶ月先行していること。
- (2) 同時性: DIの変動とコメ先物価格の変動がほぼ同時期に発生していること。
- (3) 遅行性: DIの変動がコメ先物価格の変動に対し、1~2ヶ月遅行していること。

例えば・・・

DIと東京コメの時差相関で同時性と先行性を比較した結果、先行性の方が係数が高い場合(正の相関とする)は、東京コメに対しDIは1~2ヶ月程先行した動きを示す傾向があると解釈します。

相関の数値が表わす関係性



時差相関のデータ対象期間

